

令和2年度 自己評価結果公表シート

認定こども園フレンド幼稚園

1. 本園の教育目標

のびのびとさいさいとした保育の中で、未来を担う、「心」「知」「体」を育成します。
 「心」友だちから相互に学びあい、友だちと幸せを共有できる心を育てます。
 「知」自分で考える知力を育成し、子どもの無限の可能性を芽吹かせます。
 「体」「心」「知」の基礎になる、元気に遊べる健康な体を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教職員が評価項目に沿って、自己評価することによって、自ら客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善等に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育・保育課程、環境の見直しと改善	幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づきながら、各学年で活動を精選し実践する。各学年行事について、各学年で活動を精選し実践する。各学年行事年リーダールーが中心となり、その都度見直し、内容ややり方などを改善した。 新しい遊具・玩具などを購入するばかりではなく、手作りの遊具・玩具も活用して、遊び環境の更なる充実を図った。
教職員の資質の向上を図る	園内・園外の研修会には積極的に参加すると共に、研修会に参加することで園から付与されるポイント数が園の定めるポイント数以上に達するよう努めた。また、若年層教職員に対しては、ベテラン教職員がチームで支援しながら、園全体の資質の向上に努めた。
特別支援教育	配慮を要する園児について、全教職員が正しく認識するため、公認心理師等による定期研修会に参加すると共に個別でもアドバイスを受けながら指導できる体制の強化を図った。更に、町からの巡回相談会等で情報を共有しながら、個に応じた支援に努めた。
安全で安心な保育	日々の安全点検の実施と危険な箇所は全教職員で共有するとともに、ヒヤリハット事例は全体で確認し、事故の再発防止に努めた。
健康管理	看護師を中心に、コロナ対策の研修を深め、健康安全教育に努めた。
施設・整備設備	保育環境の充実の一環として、0歳児と1歳児の屋外遊び場を新設した。 コロナ感染防止対策の一環として、園舎入口に手洗い場を設置した。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、教職員が共通に理解し、各自が適切に自己点検、自己評価を行うことで、自己の課題、園としての方針を明確にすることができた。また、今年度中に目標に達しなかったところ、不十分であったところについて反省を行うと共に、今後も幼児の成長発達へのよい援助ができるよう努力したいと考えている。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
指導計画の見直し	コロナ禍であり活動も思うように進められませんが、各先生方が指導計画を見直しながら、新しいやり方や工夫のある保育へつなげて行く。
職員の協力体制及び仕事の効率化と働きやすい環境づくり	良質な保育を提供しようとする反面、保育準備等に時間がかかれないように、作業的な業務については非常勤の先生方に依頼の依頼をするなど業務の内容の見直しと改善を行い、仕事の効率化を行う。また、会議や打ち合わせは工夫しながら計画的に実施し、時間短縮につなげる。
行事の遂行	教育活動で必要な行事については、関係機関からの指導に従うと共に、感染防止を徹底し、創意工夫しながら実施できるように努力する。
NI	職員・園児の毎日の検温、手洗い、消毒を行い、また、園内や玩具、遊具もこまめに消毒し、より衛生管理を意識し感染拡大防止に努める。更に、来園者にも検温や健康チェックを行い、園見・保護者・教職員の安全を確保する。
危機管理	危機管理意識を高め、災害発生時の連絡体制を強化し、迅速な対応力を備える。
クリーンキーパーの導入	園内の衛生管理を徹底と教職員の負担軽減のため、2名のクリーンキーパーによる園内の消毒や清掃業務を行える体制を整える。

6. 財務状況

公認会計士監査により、適正な運営がなされていると認められている。